

記者発表資料

平成28年度 相武国道事務所の事業概要 ～国道20号八王子南バイパス、日野バイパスを重点整備～

相武国道事務所では、国道16号の拡幅、国道20号のバイパス整備及び交通安全対策や共同溝等の整備を行っています。

平成28年度は、約133億円で事業を実施します。主な事業は以下のとおりです。

《主な事業内容》

<国道20号の混雑解消のためのバイパスの新設>

- ・国道20号 ^{はちおうじみなみ}八王子南バイパス、^{ひの}日野バイパス(延伸)〈H28事業費:52.0億円〉
国道20号の慢性的な渋滞を解消するため、八王子南バイパスおよび日野バイパス(延伸)の整備を重点的に推進します。

<国道16号の混雑解消のための現道の拡幅>

- ・国道16号 ^{はちおうじかくふく}八王子拡幅、^{はちおうじ みすほ}八王子～瑞穂拡幅〈H28事業費:31.0億円〉
八王子市中心市街地および拝島駅周辺の混雑解消のため、平成28年度の開通に向け、国道16号の現道拡幅工事を実施します。

<交通安全および防災・老朽化対策事業>

- ・国道16号 ^{さがみはらえきしゅうへん ちくじてんしゃどうせいび}相模原駅周辺地区自転車道整備(その2)〈H28事業費:2.61億円〉
平成28年度の開通に向け、自転車道整備工事を実施します。
- ・防災・老朽化対策事業(維持管理)
橋梁補修などの老朽化対策を実施するとともに、大規模地震発生時における緊急輸送道路を確保するため、橋梁の耐震補強工事を実施します。

<2020オリンピック・パラリンピック関連事業>

- ・国道20号 ^{ちようふ}調布(2)共同溝〈H28事業費:5.3億円〉
2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向け、共同溝の本体工事を実施します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ
都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、八王子記者クラブ
立川市政記者クラブ、青梅・西多摩記者クラブ、相模原記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所 TEL:042-643-2001(代表)
副所長〔改築担当〕 石浜 康賢(いしはま やすまさ)
副所長〔管理担当〕 中原 浩慈(なかはら こうじ)

平成28年度 相武国道事務所 事業費

(単位:百万円)

| 事業名 | 事業費 |
|--------------------------------------|--------|
| 改築事業 | 9,883 |
| 国道20号 八王子南バイパス | 3,900 |
| 国道20号 日野バイパス(延伸) | 1,300 |
| 国道16号 八王子拡幅 | 1,500 |
| 国道16号 八王子～瑞穂拡幅 | 1,600 |
| 国道468号 首都圏中央連絡自動車道(愛川～八王子) | 1,200 |
| 国道16号 橋本駅周辺整備 | 328 |
| 国道16号 神奈川16号環境対策 | 55 |
| 交通安全事業 | 1,550 |
| 国道16号 相模原駅周辺地区自転車道整備(その2)他 | 1,550 |
| 電線共同溝事業 | 1,355 |
| 国道20号 飛田給・白糸台電線共同溝(主たる事業箇所) 他11箇所 | 1,355 |
| 共同溝事業 | 530 |
| 国道20号 調布(2)共同溝 | 530 |
| 合 計 | 13,318 |

※上記のほか、維持管理費、調査費等がある。

はちおうじみなみ 国道20号 八王子南バイパス

H28年度事業費:39.0億円

1. 事業の概要

国道20号八王子南バイパスは、八王子市域の交通混雑の緩和と交通安全の確保とともに、圏央道の高尾山ICと接続し、圏央道のアクセス道路として、行動範囲の拡大、移動時間の短縮を図る八王子市北野町から同市南浅川町までの延長9.6kmのバイパス事業です。

これまでに、町田街道（八王子市館町）から国道20号（八王子市南浅川町）までの約2.6kmが4車線で開通しており、現在、国道16号（八王子市北野町）から町田街道（八王子市館町）までの約7.0kmで事業を実施しています。



2. 平成28年度の予定

早期開通に向け、館町地区ほか改良工事、館高架橋下部工事、館第一トンネル工事、用地買収、埋蔵文化財調査、道路設計及び環境調査を実施します。



館高架橋から新宿方向を望む
(平成28年3月撮影)



寺田地区から大月方向を望む
(平成28年3月撮影)



国道20号 日野バイパス(延伸)

H28年度事業費:13.0億円

1. 事業の概要

国道20号日野バイパス(延伸)は、国道20号(甲州街道)や、並行する北野街道等の交通混雑の緩和と交通事故の減少に伴う地域の安全性の向上を目的とした、日野市川辺堀之内から同市西平山までの延長3.8kmのバイパス事業です。



2. 平成28年度の予定

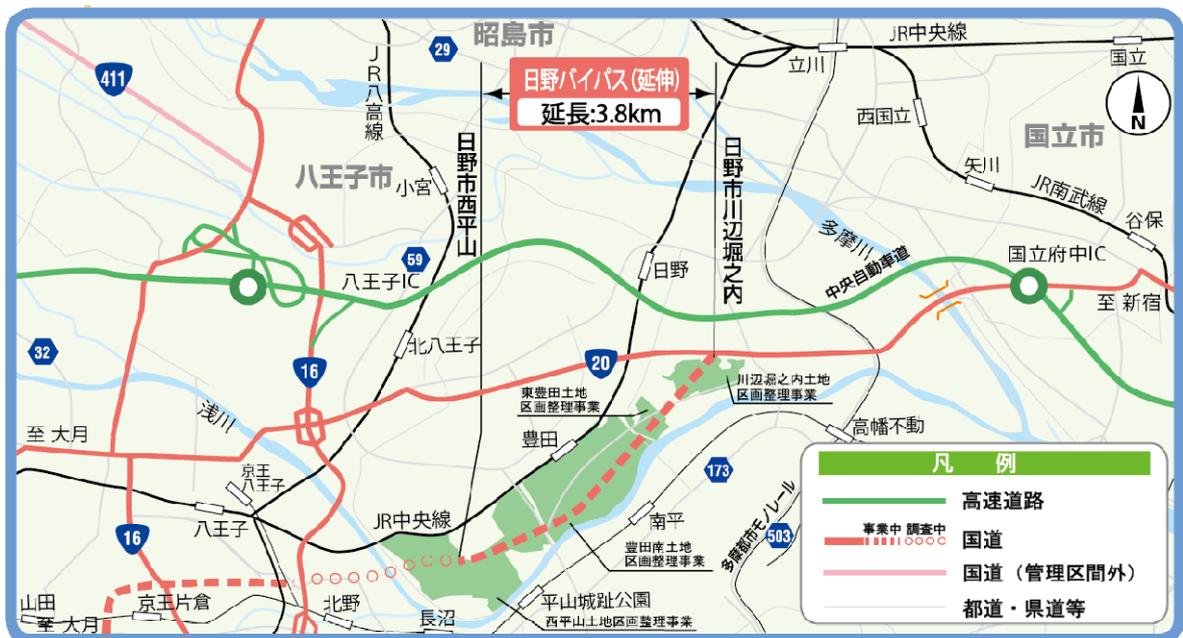
早期開通に向け、用地買収、埋蔵文化財調査及び道路設計を実施します。



坂下交差点から八王子方向を望む
(平成27年3月撮影)



東豊田地区土地区画整理事業地
(平成26年7月撮影)



平成28年度開通予定

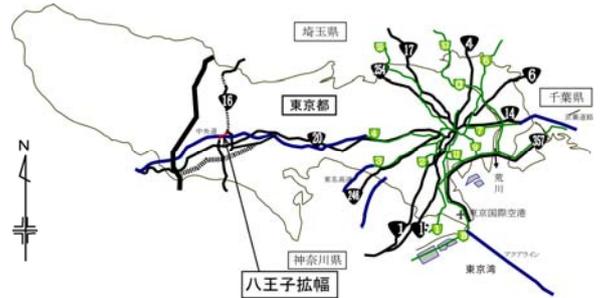
国道16号 はちおうじかくふく 八王子拡幅

H28年度事業費:15.0億円

1. 事業の概要

国道16号八王子拡幅は、八王子市内の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした八王子市中野上町から同市左入町までの延長2.7kmの現道拡幅事業です。

これまでに、中野山王地区及び左入地区（中央自動車道高架下付近から左入橋交差点まで）の約1.7kmについて4車線化が完了しており、現在、中野地区（浅川橋から中央自動車道高架下付近まで）の約1.0kmについて4車線化拡幅事業を実施しています。



2. 平成28年度の予定

中野地区（約1.0km）において、改良舗装工事及び電線共同溝工事等を実施します。



八王子市中野地区付近の状況
(平成28年4月撮影)



浅川橋から川口川橋方向を望む
(平成28年3月撮影)



平成28年度開通予定

国道16号 八王子～瑞穂拡幅

H28年度事業費:16.0億円

1. 事業の概要

国道16号八王子～瑞穂拡幅は、八王子市、昭島市、福生市、羽村市、西多摩郡瑞穂町の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした八王子市左入町から瑞穂町二本木までの延長14.6kmの現道拡幅事業です。これまでに、全線で4車線化が完了しており、現在、昭島市拝島町から福生市熊川までの松原地区約1.7kmについて6車線化を実施しています。



2. 平成28年度の予定

松原地区の改良舗装工事及び武蔵野橋橋梁工事や道路設計、環境調査、用地買収を実施します。



昭島市拝島町から瑞穂町方面を望む
(平成28年3月撮影)



武蔵野橋付近の状況
(平成28年4月撮影)

国道468号 首都圏中央連絡自動車道(愛川～八王子)

H28年度事業費:12.0億円

1. 事業の概要

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)は、都心から半径およそ40km～60kmの位置に計画された総延長約300kmの環状の高規格幹線道路であり、3環状9放射道路ネットワークの一部を形成し、東京都中心部への交通の適切な分散導入を図り、首都圏全体の交通の円滑化、首都圏の機能の再編成を図る上で重要な路線です。愛川～八王子区間は、その一部を形成する延長16.9kmの自動車専用道路です。

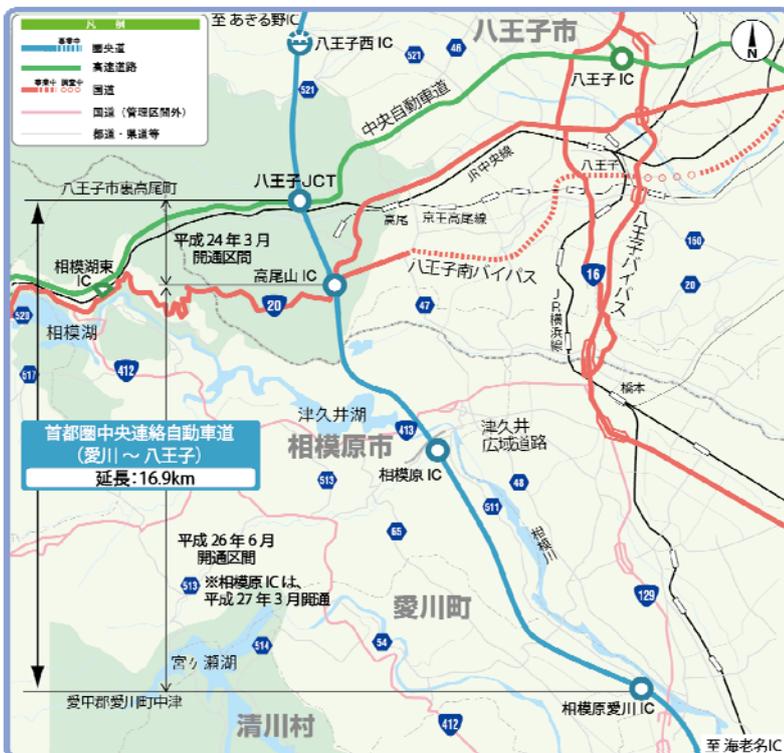
平成26年6月28日に相模原愛川ICから高尾山IC間が開通しました。また、平成27年10月31日に桶川北本ICから白岡菖蒲IC間が開通したことにより、東名から東北道までつながりました。



2. 平成28年度の予定

■ 相模原愛川IC～高尾山IC間 (L=14.8km)

相模原地区において、機能補償道路の改良工事等を実施します。



相模原 IC を望む
(平成 28 年 3 月撮影)



相模原愛川 IC を望む
(平成 28 年 3 月撮影)

国道16号 はしもとえきしゅうへんせいび 橋本駅周辺整備

H28年度事業費:3.28億円

1. 事業の概要

国道16号橋本駅周辺整備は、国道16号と他交通手段（鉄道駅、バスターミナル、自由通路や階段、歩道等）に連絡する交通結節点※として、神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目から相模原市緑区西橋本5丁目までの延長1.5km区間における横断地下道の整備事業です。

現在、橋本駅と橋本地区都市拠点総合整備事業箇所とを結ぶ橋本駅南入口交差点において渋滞緩和と安全・安心な歩行空間を確保する為、横断地下道の整備を実施しています。

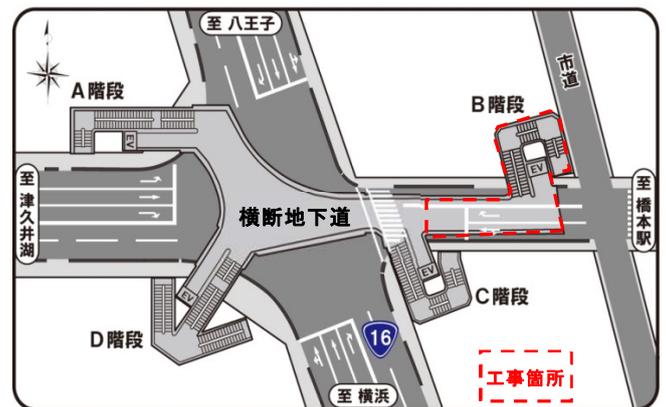


2. 平成28年度の予定

早期開通に向け、橋本駅南入口交差点において、横断地下道の出入口工事を実施します。



橋本駅南入口交差点を望む
(平成28年3月撮影)



橋本駅南入口交差点 横断地下道イメージ図



※交通結節点：鉄道駅、バスターミナル、自由通路や階段、駅前広場やバス交通広場、歩道などの交通手段を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設のことを言います。

平成28年度開通予定

国道16号 相模原駅周辺地区自転車道整備(その2)

さがみはらえきしゅうへん ちくじてんしゃどうせいび

こうつうあんぜんじぎょう
(交通安全事業)

H28年度事業費:2.61億円

1. 概要

国道16号の相模原駅周辺地区は、歩行者と自転車の交通量が多く、特に高齢者や児童の歩行者と、自転車の接触事故が懸念されている箇所です。

当該箇所のうち、約0.8kmについては「自転車通行環境整備モデル地区」※としてすでに自転車道が整備され、歩行者と自転車が分離されており、利用者の反応も概ね好評なことから、同様な交通状況である相模原市中央区富士見三丁目～同清新三丁目区間の延長1.8kmについても、自転車道の整備を行い、歩行者の安全確保と自転車通行環境の向上を図るものです。

なお、平成27年1月に「モデル地区」の北側の清新地区(約0.6km)、同8月に「モデル地区」の南側の富士見地区(約0.4km)が開通しました。

※平成20年1月に警察庁と国土交通省が合同で、今後の自転車の通行環境整備の模範となる「自転車通行環境整備モデル地区」を全国で98地区指定しました。

国道16号 相模原駅周辺地区自転車道整備(その2)事業

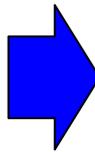


2. 平成28年度の予定

「モデル地区」の南側の富士見地区において、歩行者と自転車を分離した自転車道整備を推進します。



自転車道整備前(清新地区)



自転車道整備後(清新地区)



国道20号 飛田給・白糸台電線共同溝(電線共同溝事業)

H28年度事業費:3.2億円

1. 概要

国道20号飛田給・白糸台電線共同溝は、電線類を地中化することにより、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを目的とした、東京都調布市下石原1丁目から東京都府中市白糸台3丁目に至る延長4.1kmの共同溝整備事業です。

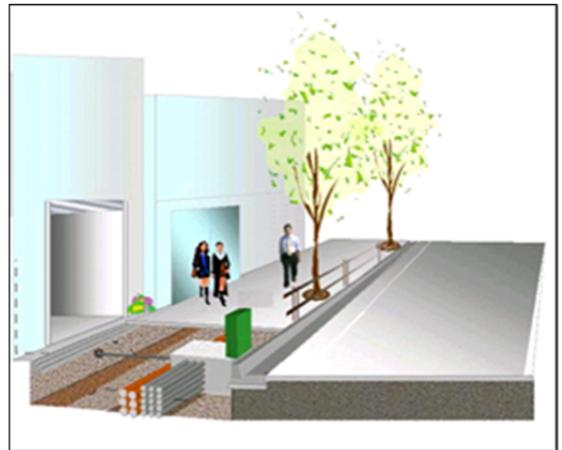


2. 平成28年度の予定

電線共同溝の本体工事及び調査設計、支障物件移設補償を実施します。



国道20号調布市西町の状況
(平成28年4月撮影)



電線共同溝整備イメージ図



国道20号 調布(2)共同溝

H28年度事業費:5.3億円

1. 事業の概要

国道20号調布(2)共同溝は、道路の掘り返しによる渋滞発生を抜本的に解消するとともに、災害時のライフライン確保をより確実なものとするため、共同溝のネットワーク化を目的とした、東京都調布市仙川町3丁目から東京都調布市国領町2丁目に至る延長2.9kmの共同溝整備事業です。



2. 平成28年度の予定

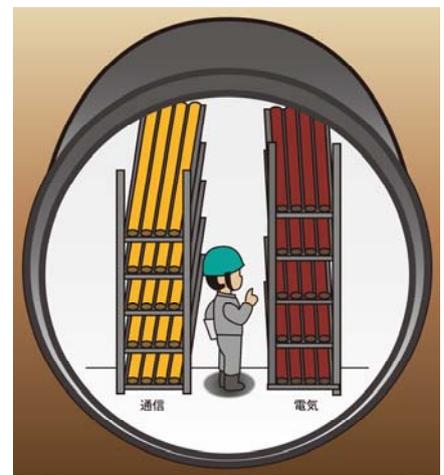
発進立坑部の道路切回し等の準備工事を実施するとともに、共同溝の本体工事を実施します。



調布から新宿方向を望む
(平成28年3月撮影)



調布市東つじヶ丘付近の状況
(平成28年3月撮影)



共同溝イメージ図

いじかんり 維持管理

1. 概要

相武国道事務所は、^{とうきょう}東京都・^{かながわ}神奈川県・^{さがみはら}相模原市内における国道16号、20号の延長約107kmを管理しており、巡回、清掃、除草、剪定、路面の補修、除雪など道路の維持管理を実施しています。

除雪については、関係機関と連携しながら、必要に応じて災害対策基本法に基づく指定区間の通行止めや車両移動等を行い、着実かつ効率的な除雪作業を実施します。

なお、効率的な維持管理によりコストの縮減を図りつつ、道路利用者の安全、安心な交通の確保に努めてまいります。

また、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、橋梁をはじめとする構造物を点検・診断・措置・記録のメンテナンスサイクルで実施することにより道路の老朽化対策を行うとともに、大規模地震発生時における緊急輸送道路を確保するため、橋梁の耐震補強工事を実施しています。



路面清掃状況



高木剪定状況



除雪状況



災害対策基本法を踏まえた
車両移動等訓練状況

2. 平成28年度の予定

橋梁補修：国道16号 橋本陸橋

ジョイント部において、経年劣化による損傷が生じ、これに起因してポットホールが発生しています。よってジョイントの取替工事を実施します。



* 写真は国道16号橋本陸橋でのジョイント損傷状況

橋梁の点検・診断・措置・記録

橋梁の定期点検を行うことにより、変状及び健全性を把握します。そして劣化や損傷が生じた箇所を補修することで橋梁の長寿命化を図ります。



* 写真は橋梁点検状況